

# 芸術部(華道部門)

## ・部紹介

華道部門は、小原流の伊藤豊扇先生の指導の下、楽しく明るい雰囲気を大事にしている部活動です。部員のほとんどが初心者ですが、手取り足取り教わるうちに、空間デザインやカラーコーディネートなどのセンスが磨かれていきます。華道は高校総合文化祭に展示することはありませんが、昨年度は部員5名の団体戦で小原流学生いけばな競技大会2022に挑戦し、見事全国優勝に輝きました。また、北高祭では書道部門とコラボした展示を毎年行っています。

## ・活動について

活動(稽古)は、月に平均して1~2回、応接室などで行っています。そのため、他の部活動と兼部(顧問の先生から許可をもらうことが条件)している生徒もいます。技術料やハサミ代などは不要です。毎回、使用する花材の代金(学生価格)だけ徴収します。稽古後は花を家でも生け直して飾ることもできます。稽古を続けると小原流の免状取得が可能です。

## ・メッセージ

華道は生涯にわたって楽しめる趣味・特技です。学生時代に触れておくと、大人になってからもその楽しさに気付かされます。何より、花を生けることは脳を活性化し、メンタルの安定や気持ちの切り替えにとっても役立ちます。あなたも楽しく美しく花をいけてみませんか。



Copyright © 2023

青森県立青森北高等学校 All rights reserved.

# 芸術部(書道部門)

## ・部紹介

書道部門は、本校の芸術科目の書道を指導されている菊池博史先生の指導のもと、楽しく和気あいあいと活動しています。初心者でも、他の部活動と兼部していても、皆書道が好きで素敵な作品を完成させようと頑張っています。毎年、7月の北高祭では華道部門とコラボした作品展示をおこない、その後は青森県高校総合文化祭にも出品しています。

## ・活動について

活動(稽古)は、月に平均して2～3回、1階の書道室で行います。ただし、北高祭や高総文祭が近い時には、作品ができるまで集中して活動しています。部員には、他の部活動と兼部(顧問の先生から許可をもらうことが条件)している生徒もいます。手持ちの道具があれば、特にお金を出して用具や紙を買う必要はありません。

## ・メッセージ

華道は生涯にわたって楽しめる趣味・特技です。学生時代に触れておくと、大人になってからもその楽しさや奥深さに気付かされます。自分が書き上げた作品を額装すると、立派で素敵な書に満足するはずです。ベテランで優しい菊池先生の指導のもとで練習を積み、他校の生徒の作品を見れば、もっとすごい書に挑戦したいと思うはず。ぜひ、書の世界に飛び込んでみてください。

